

平成24年度（2012年度）

エコアクション21

環境活動レポート

対象期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日



エコアクション21
認証・登録番号0007179

 **城陽ダイキン空調株式会社**

発行日：平成25年（2013年）5月21日

1. ごあいさつ

当社は、ダイキン工業株式会社の代理店として、空調を核とし、その関連設備機器の販売、設計・施工、メンテナンスまで一貫した体制で事業を運営しております。

昭和41年創業以来、「誠実・技術・堅実」を経営理念に、お客様第一の姿勢に徹し、多くのお客様に信頼を得て、設備の専属パートナーとしてお客様の将来の利益を踏まえた提案を行い、問題解決のお手伝いをしております。

近年は、機能面はもちろん、コスト面、環境面、安全面に配慮した製品のニーズが高まってきております。メーカーと一体となり、設計・施工、メンテナンスの全般にわたって、総合的な設備診断を行って、お客様にご満足いただける最適なシステムをご提案申しあげております。

是非、ご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

2. 社是・社訓

社 是

誠	実	と	信	用
熱	意	と	創	意
研	鑽	と	協	力

社 訓

売	ろ	う	信	用	と	技	術	
見	せ	よ	う	誠	意	と	実	力
得	よ	う	信	頼	と	繁	栄	

3. 環境方針

城陽ダイキン空調株式会社

環 境 方 針

<基本理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が、地球上に生きる私たち人類共通の重要課題と考えています。

私たちは、空調その他関連設備機器事業を通じて、環境負荷の低減と、環境に配慮した製品の販売並びに施工・サービスを目指し、三じつ主義（誠実・技術・堅実）に則り、全社一丸となって自主的・積極的に環境への取組を進めてまいります。

<行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ① 資源及びエネルギーの消費を適正化し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 1. 電力使用量の削減
 2. 資源（ガソリン）使用量の削減
 3. コピー用紙の再生紙化と電子媒体活用によるペーパーレス化推進
 - ② 廃棄物の削減及び再資源化の推進に努めます。
 1. 一般及び産業廃棄物の分別の徹底
 2. 3R（リデュース・リユース・リサイクル）率の向上
 - ③ 水資源使用量の適正化に努めます。
 - ④ 事務用品のグリーン購入を拡大します。
 - ⑤ 環境に配慮した製品の販売、施工、サービスの推進を図ります。
 - ⑥ 事業所周辺の清掃活動を積極的に行い、地域の環境改善に貢献します。
2. 本方針や環境関連法規制を全従業員に周知徹底を図り、遵守します。
3. 環境教育、地域活動などを実施し、全従業員の環境方針への理解と環境意識の向上に努めます。

制定日：平成24年6月1日

城陽ダイキン空調株式会社

代表取締役社長 澄川 秀幸

4. 取組の対象組織・活動

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

城陽ダイキン空調株式会社

代表取締役社長 澄川 秀幸

(2) 所在地

本 社(分室を含む) 大阪府大阪市東成区玉津1丁目10番30号

南大阪営業所 大阪府堺市堺区中之町西2-2-24

神戸営業所 兵庫県神戸市中央区浜辺通2-1-17
三宮国際ビル別館2F

京都営業所 京都府京都市伏見区竹田真幡木町129

奈良営業所 奈良県天理市二階堂上之庄345-1

*本社においては、本館と分室が存在するが、距離的に近くにあり、また、日常業務においても区別していない為、エコアクション21の活動においても本館と分室を一括して本社とする。

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

管理責任者 常務取締役・総務部長

今西 直文 TEL:06-6972-3801

担当者 総務部 石原 徹磁 //

春 絵梨子 //

(4) 事業内容

冷暖房機器の卸売及び施工管理

(5) 事業の規模

資本金 80百万円

売上高 7,248百万円

	本社	南大阪(営)	奈良(営)	京都(営)	神戸(営)	合計
従業員	73名	12名	6名	4名	3名	98名
延べ床面積	952m ²	509m ²	240m ²	264m ²	54m ²	2019m ²

(6) 事業年度

4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 城陽ダイキン空調株式会社

本社（分室含む）

南大阪営業所

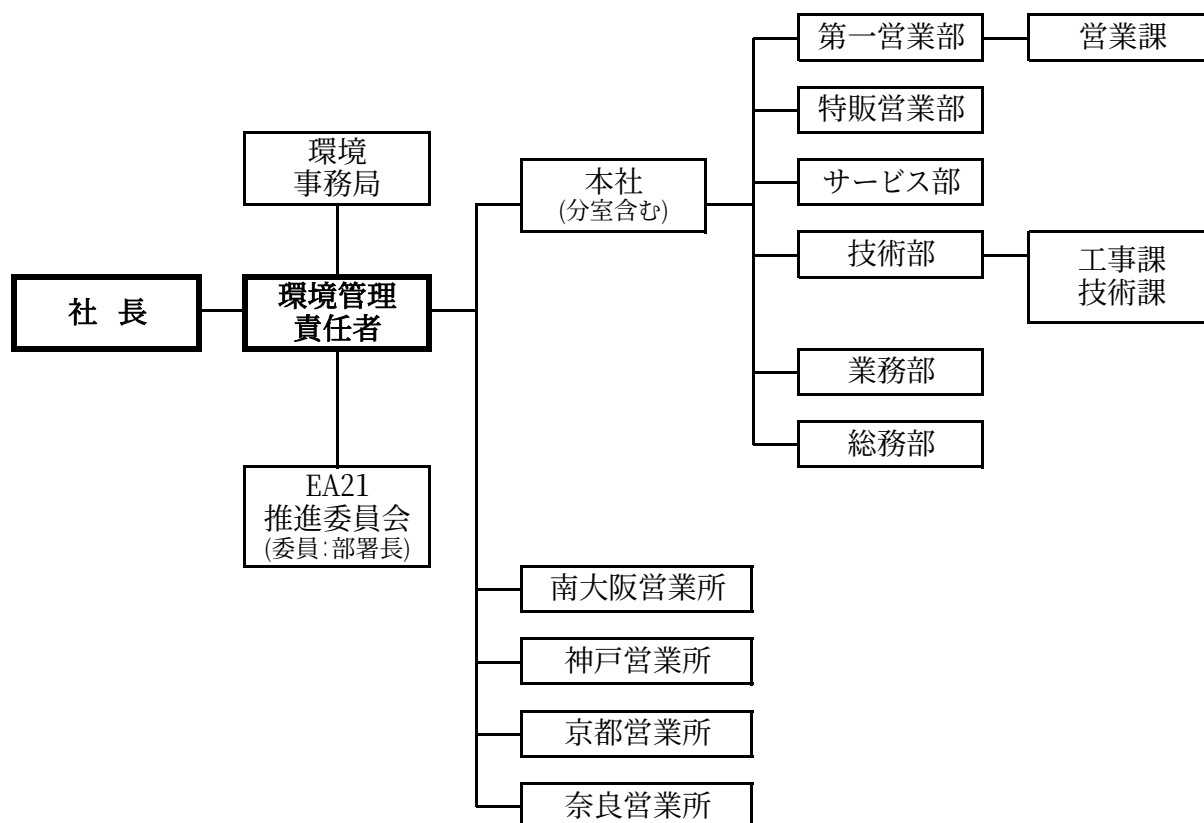
奈良営業所

京都営業所

神戸営業所

活動： 冷暖房機器の卸売及び施工管理

5. 組織の概要

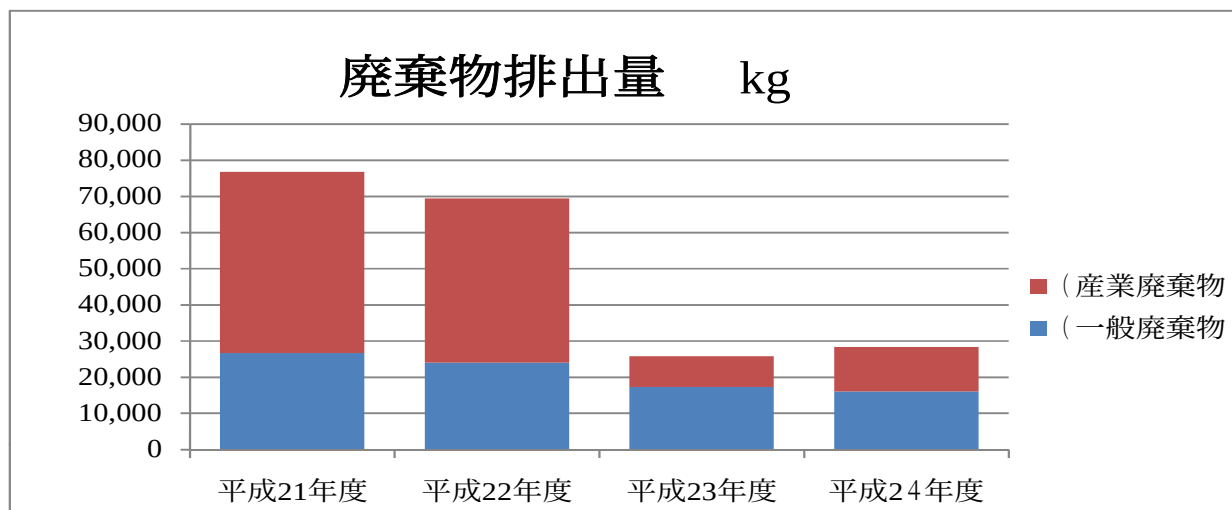
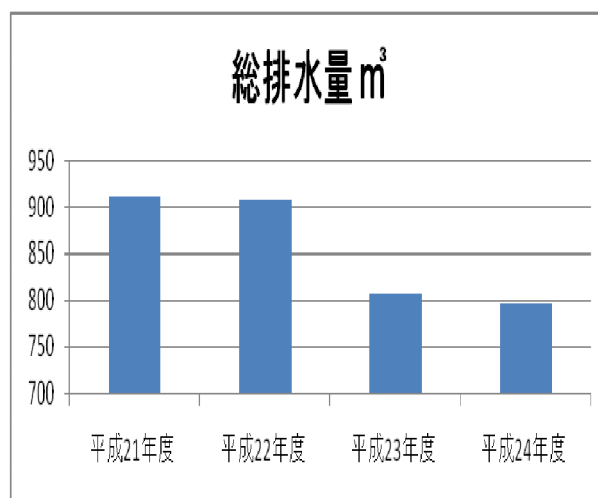
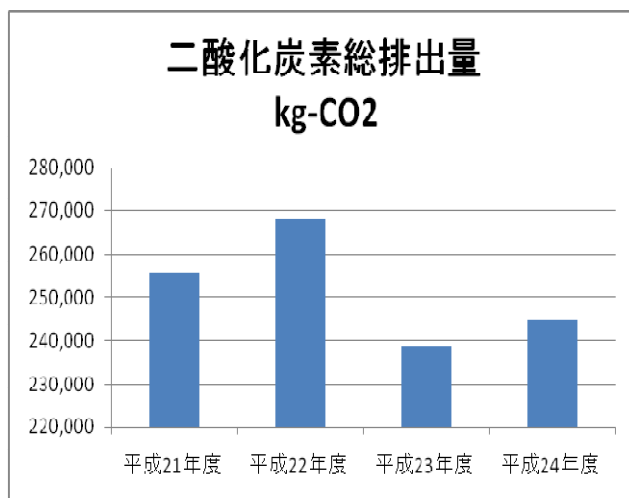


	役割・責任・権限
代表者（社長）	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境目標・環境活動計画書を承認、環境活動レポートの承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理、 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境目標・環境活動計画書を確認 - 年間活動計画/実績記録表を承認、各手順書の内容の承認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境活動レポートの確認 - 各部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施の確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境目標・環境活動計画書原案の作成、環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部署長 (EA21推進委員)	- 自部門における環境方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 - 会社周辺地域の清掃活動への参加

6. おもな環境負荷の実績

項 目	単位	平成21年度 (暫定基準年度)	平成22年度	平成23年度 (基準年度)	平成24年度
二酸化炭素総排出量 電力の二酸化炭素排出係数 0.355 kg-CO ₂ /kwh	kg-CO ₂	255,373	268,055	238,826	244,747
廃棄物総排出量	kg	76,823	69,536	25,858	28,385
(一般廃棄物排出量)	kg	26,658	24,052	17,318	16,152
(産業廃棄物排出量)	kg	50,165	45,484	8,540	12,233
総排水量	m ³	911	907	807	796

※ 当初平成21年度を基準年度としていたが、概算算出が多かったため、平成23年度に基準年度を変更した。



7. 環境目標とその実績

□ 全社合計

年 度			平成23年	平成24年		評価	平成25年	平成26年
項 目			基準年度	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	-	99%	94%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	78,474	77,689	73,594		76,905	76,120
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	99%	80%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	306	303	244		300	297
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	107%	未達成	97%	95%
		(kg-CO2)	160,046	158,446	170,909		155,245	152,044
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	82%	達成	97%	95%
		(Kg)	17,610	17,434	16,152		17,082	16,730
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	-	99%	124%	未達成	97%	95%
		(Kg)	9,890	9,791	12,233		9,593	9,396
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	99%	達成	98%	97%
		(m ³)	807	799	796		791	783
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	50%	44%	未達成	53%	55%
		(円)	事務用品購入	-	2,668,241		-	-
			グリーン購入	-	1,187,105		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進 (*3)	基準年比	-	101%	90%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	3,001	3,031	2,693			
化学物質削減	フロンの適正な回収と破壊 (建設現場)		破壊量/回収量	100%	100%	達成	100%	100%
		(kg)	回収量	-	2,767		-	-
			破壊量	-	2767		-	-

(*1)電力の削減……………二酸化炭素排出係数：0.355 (k g-CO₂/kwh)

(*2)産業廃棄物の削減……施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3)エコ製品の販売促進…省エネ効率が高い製品 (エコジラス80、ルームエアコンRX・HX)

□ 本 社

年 度			平成23年	平成24年		評価	平成25年	平成26年
項 目			基準年度	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	-	99%	95%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	49,786	49,288	47,116		48,790	48,292
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	99%	82%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	198	196	162		194	192
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	101%	未達成	97%	95%
		(kg-CO2)	82,807	81,979	83,554		80,323	78,667
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	81%	達成	97%	95%
		(Kg)	13,856	13,717	13,322		13,440	13,163
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	-	99%	128%	未達成	97%	95%
		(Kg)	4,580	4,534	5,880		4,443	4,351
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	63%	達成	98%	97%
		(m³)	595	589	376		583	577
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	50%	38%	未達成	53%	55%
		(円)	事務用品購入	-	1,935,343		-	-
			グリーン購入	-	726,431		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進 (*3)	基準年比	-	130%	98%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	1,135	1,476	1,109			
化学物質削減	フロン適正な回収と破壊 (建設現場)		破壊量/回収量	100%	100%	達成	100%	100%
		(kg)	回収量	-	2,767		-	-
			破壊量	-	2,767		-	-

(*1)電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.355 (kg-CO2/kwh)

(*2)産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3)エコ製品の販売促進………省エネ効率が高い製品（エコジラス80、ルームエアコンRX・HX）

□ 南大阪営業所

年 度			平成23年	平成24年		評価	平成25年	平成26年
項 目			基準年度	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	-	99%	94%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	15,734	15,577	14,867		15,419	15,262
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	99%	88%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	64	63	56		63	62
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	107%	未達成	98%	97%
		(kg-CO2)	47,545	47,070	50,977		46,594	46,119
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	60%	達成	97%	95%
		(Kg)	1,668	1,651	999		1,618	1,585
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	-	99%	110%	未達成	97%	95%
		(Kg)	4,675	4,628	5,150		4,535	4,441
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	112%	未達成	98%	97%
		(m ³)	114	113	128		112	111
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	50%	55%	達成	53%	55%
		(円)	事務用品購入	-	470,370		-	-
			グリーン購入	-	261,004		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進 (*3)	基準年比	-	101%	100%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	865	874	864			

(*1)電力の削減……………二酸化炭素排出係数：0.355 (kg-CO₂/kwh)

(*2)産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3)エコ製品の販売促進…省エネ効率が高い製品 (エコジラス80、ルームエアコンRX・HX)

□ 奈良営業所

年 度			平成23年	平成24年		評価	平成25年	平成26年
項 目			基準年度	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	-	99%	87%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	7,432	7,358	6,454		7,283	7,209
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	99%	84%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	19	19	16		19	18
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	135%	未達成	98%	97%
		(kg-CO2)	12,114	11,993	16,340		11,872	11,751
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	86%	達成	97%	95%
		(Kg)	301	298	260		292	286
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	-	99%	9%	達成	97%	95%
		(Kg)	320	317	30		310	304
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	97%	達成	98%	97%
		(m³)	76	75	74		74	74
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	50%	86%	達成	53%	55%
		(円)	事務用品購入	-	119,828		-	-
			グリーン購入	-	102,843		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進 (*3)	基準年比	-	101%	62%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	533	538	332			

(*1)電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.355 (kg-CO2/kwh)

(*2)産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3)エコ製品の販売促進………省エネ効率が高い製品（エコジラス80、ルームエアコンRX・HX）

□ 京都営業所

年 度			平成23年	平成24年		評価	平成25年	平成26年
項 目			基準年度	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	-	99%	90%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	2,728	2,701	2,455		2,673	2,646
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	99%	50%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	30	30	15		29	29
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	111%	未達成	97%	95%
		(kg-CO2)	10,429	10,325	11,599		12,271	12,018
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	82%	達成	97%	95%
		(Kg)	1,152	1,140	941		1,117	1,094
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	-	99%	372%	未達成	97%	95%
		(Kg)	315	312	1,173		306	299
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	51%	達成	98%	97%
			41	41	21		40	40
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	50%	93%	達成	53%	55%
		(円)	事務用品購入	-	80,467		-	-
			グリーン購入	-	74,791		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進 (*3)	基準年比	-	101%	62%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	307	310	190			

(*1)電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.355（kg-CO₂/kwh）

(*2)産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3)エコ製品の販売促進………省エネ効率が高い製品（エコジラス80、ルームエアコンRX・HX）

□ 神戸営業所

年 度			平成23年	平成24年		評価	平成25年	平成26年
項 目			基準年度	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	-	99%	97%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	2,795	2,767	2,703		2,739	2,711
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	118%	未達成	98%	97%
		(kg-CO2)	7,152	7,080	8,439		7,009	6,937
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	99%	100%	未達成	97%	95%
		(Kg)	633	627	630		614	601
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	-	99%		達成	97%	95%
		(Kg)	5	5	0		5	5
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	50%	35%	未達成	53%	55%
		(円)	事務用品購入	-	62,233		-	-
			グリーン購入	-	22,036		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進 (*4)	基準年比	-	101%	123%	達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	161	163	198			

(*1)電力の削減……………二酸化炭素排出係数：0.355 (kg-CO2/kwh)

(*2)産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3)水道水の削減……………テナントに入っており、当社での使用実績が把握できないために、
取組項目にはあげていないが、節水活動は実施している。

(*4)エコ製品の販売促進…省エネ効率が高い製品 (エコジラス80、ルームエアコンRX・HX)

8. 環境活動計画と結果及びその評価、次年度の取組内容

□ 全社合計

◎よく出来た ○概ね出来た △あまり出来なかった ×全く出来なかった

環境活動計画			結果	継続/変更	評価、次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所)	・数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	原発稼働の影響により節電への意識がいつも以上に高く、それが数値に反映された。
		・パソコン、コピー機などの省電力設定化	○	継続	
		・定期的なエアコンのフィルター清掃、交換	△	継続	
		・空調の適温化を徹底（冷房28℃暖房20℃程度）	○	継続	
		・業務の効率化を図り、残業時間を減らす	△	継続	
	ガスの削減 (事務所)	・数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	意識して使用軽減取組を行っている。使用軽減の意識を継続させる。
		・冬季以外の給湯停止	◎	継続	
		・意識して使用軽減に取り組む	○	継続	
		・啓発ラベルやステッカーを掲示する	◎	継続	
	自動車燃料の削減 (事務所)	・数値目標	△	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し	数値目標はクリアできていない。エコドライブの徹底など、定期的に社員へ啓蒙し、削減を目指す。
		・エコドライブ等の運転方法を励行	△	継続	
		・タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値の維持	△	継続	
		・社用車の効率的な使用を徹底する	○	継続	
		・不要な荷物を積んだまま運転しない	○	継続	
		・近距離の用務には公共交通機関を利用する	△	継続	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	・数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	更なる削減を目指し、ペーパーレス化の推進、分別回収の徹底を強化する。
		・会議資料などの書類簡素化、ペーパーレス化	○	継続	
		・両面や2枚焼きによる印刷、コピーの徹底	○	継続	
		・使用済み用紙などの裏紙利用	○	継続	
		・マイ箸、マイカップ、マイ水筒、マイバッグを使用する	△	継続	
		・分別回収ボックスにより、ごみの分別を徹底	◎	継続	
	産業廃棄物の削減 (建設現場)	・数値目標	×	□上方修正 ■下方修正 □基準見直し	分別を徹底し3R率を高めていく。
		・機器等の故障時は修理等により長期使用を図る	△	継続	
		・クレームの発生撲滅に努める	△	継続	
		・分別廃棄を徹底し、できるだけリサイクルに努める	○	継続	
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	・数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	啓発ラベルの掲示により意識向上。
		・手洗い、洗い物時における節水の励行	○	継続	
		・啓発ラベルやステッカーを掲示する	◎	継続	
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入	・数値目標	○	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	グリーン購入の割合を増やしていく。
		・再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入	○	継続	
		・コピー用紙、印刷物等について再生紙を購入する	○	継続	
		・環境ラベル認定製品の購入	○	継続	
		・購入計画を徹底し、余剰品の削減に努める	○	継続	
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進	・数値目標	○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し	4月以降に来年度の目標を設定する。
		・家庭用エアコンのRX、HXシリーズの販売推進	○	変更	
		・業務用エアコンについては、スカイエア全体に対するecoZEAS80の構成比を30%以上に高める	○	変更	
化学物質削減	フロンなどの適正な回収と破壊 (建設現場)	・数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	フロンの適正な処理を継続する。
		・法令を遵守し、回収したフロンについては適正な破壊処理を行う	◎	継続	
		・毎年、定期的に報告書を作成し、近畿の各府県に提出する	◎	継続	

9. おもな環境関連法規について

適用されるおもな法規制とその遵守状況（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	法規制等の名称	要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	マニフェスト管理、マニフェスト交付等状況報告、契約書保管	○
2	フロン回収・破壊法	フロン類の適切な回収と破壊処理	○
3	PRTR法	前年度の第1種指定化学物質排出量等の届出	○
4	毒劇法	取扱責任者の選任、盗難・紛失の防止など	○
5	騒音規制法	地域別騒音基準の遵守	○
6	NOx・PM法	大阪府条例（自動車流入規制、ステッカー貼付）	○
7	消防法	防火管理者選任、消防計画書の届出	○
8	高圧ガス保安法	ボンベ類の転倒防止、40℃以下、警戒標など	○
9	家電リサイクル法	該当する家庭用エアコンの適正処理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

また、外部コミュニケーションとして上記期間に、環境に関する苦情はありません。

10. 代表者による全体評価の見直しの結果

- ・ 南大阪(営)は、周辺清掃活動により町内の住民により道路の植込みの回りに花が植えられ町内の連帯感が生まれた。
- ・ 長い夏に対応すべく冷房時（28℃）に対処する為、扇風機を併用し節電、省エネに対し、努力がみられる。
- ・ テーマの活動状況の「見える化」をする為にも、もっと目標に対する結果（状況）を社員一人ひとりが認識できる様にする。

11. 環境活動

1) 環境活動の一環として、全社で社屋近隣の清掃ボランティアを行っています。

■開始：平成22年(2010年)12月22日から

■範囲：社屋近隣周辺

■頻度：毎週1回始業前の朝8:20～8:35

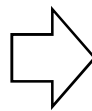
■担当：全部門全従業員



2) 本社ビル屋上のエアコン室外機に「Eco日よけ」を取り付けました。

■設置日：平成24年(2012年)6月26日

(取付前)



(取付後)



3) 堺市クリーンセンター東工場に工場見学を行いました。

■実施日：平成24年(2012年)9月12日

■参加者：販売店30名、当社従業員22名



※当社が当工場に空調設備を設置したことが工場見学ときっかけとなりました。
未来の「排熱リサイクル設備」を導入した施設に将来の可能性が垣間見れ、参加者一同高い関心を持って見学しました。

以 上